

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日 R6年 2月14日

事業所名:児童発達支援 みつばち

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・指定基準以上の療育室・活動部屋を確保できている。園庭での活動も出ている。	はい…91% わからない…9% ・目の前に総合公園に行ける事を喜んでいる。	継続していく。
	2 職員の適切な配置	・非常勤含め、有資格者のみ配置している。 ・月1日PT支援あり。	はい…91% わからない…9% ・なかなか予約が取れないので、毎月PTさんに見てもらえることが嬉しい。	継続していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・室内にはスロープがあり、滑り止めを付けている。	はい…100% ・室内に写真で示してある場所が多く、伝達に配慮されてあると感じる。	継続していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日のアルコール消毒、清掃を徹底している。 ・空気清浄機や加湿器の活用を行っている。	はい…100% ・居心地よく過ごせている。	継続していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・支援計画にそって、都度ミーティングを行いながら理解を深め、支援している。		・継続していく。 ・スタッフの意見を取り入れながら、多角的に支援を行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・実施できていないが、今後検討していく。		・検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・個別面談を通して自己理解を深める。 ・参考資料を作成し、意見交換を行っている。		・外部研修への参加を促進する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・面談において、サポートブックやアセスメント表を使いながら、ニーズにそった個別試験計画書を作成している。	①③ はい…100% ② はい…91% わからない…9%	・継続していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別支援と集団支援に分けて、目標を定めている。 ・状況に応じて保護者支援を実施している。	・しっかりと話を聞いていただいたうえで、計画が作成されていると思う。	・継続していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・個別支援計画を作成後、保護者や各関係機関と共有をしたり、担当者会議へ積極的に参加している。		・継続していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・こどもの状況を見極めながら、スモールステップで実施している。	はい…100% ・具体的な目標で家でも実践するようにしている。	・継続していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・机上学習では、それぞれの目標に合わせて課題を提供させて頂いている。 ・SSTを通して経験値をあげていけるようにしている。		・継続していく。 ・繰り返し練習を重ねる事で、自信を持ってとりくめるように配慮している。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・公共施設を使いながら、交通ルールや社会のルールに触れ、慣れていく機会を設けている。 ・季節や行事を感じられる活動を取り入れている。	はい…91% わからない…9% ・家では経験させてあげられない事が出来ている。 ・本児が興味を示したタイミングで始めてくれる。	・継続していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動の狙いを明確にしながら、幅広い支援を行っている。(SST・粗大運動・楽器遊び・クッキング・季節の行事・遠足など)		・継続していく。 ・基本的な生活習慣を身に着けるためには、繰り返しの反復練習になるが、他児に刺激を受けながら意欲的に取り組めるようにしている。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・可能な限り出来ている。 ・伝達ノートや共有ラインを通して共通理解を深め、役割分担の確認を行っている。		・継続していく。 ・どのスタッフがどの役割でも担えるように、スキルアップしていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了と共に送迎に出るが、個別記録ノートに関わりや成果・反省を記録し共有する。 ・関わりの方向性や振り返りを見直すミーティングをこまめに行っている。		・継続していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・個別の評価ノートに、スタッフの対応や本児の理解度、行動改善の有無を記録し、支援の検証や改善を行っている。		・継続していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・保護者のモニタリングを行う前に、スタッフミーティングをしてモニタリングを行っている。		・継続していく。 ・モニタリング時だけでなく、成長や課題はノートに記載している。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・担当者会議や各関係機関との面談は、児童発管が積極的に参加している。		・継続していく。 ・今後は現場スタッフの同行も検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	無し		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	無し		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	・児発管が園へ伺い、園長や担任と面談を行い、 本児の支援方法を共有している。 ・個別支援計画や検査結果を共有している。		・継続していく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・対象児童なし		研修があれば参加し、 情報提供ができるようにしておく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・サービス提供時間と研修が重なっていることが多く、参加できていない。		・スタッフの配置を調整し、研修参加を促進する。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・放課後等デイサービスはちのじとの交流は取れている。地域の児童館で行われているクラブにも月1回参加し、地域の親子と触れ合う機会を設けている。	はい…33% わからない…66% ・定型児との活動はあまりないと感じます。	・地域のサークルへは月に1回参加しているが、サークル内容によって参加児童が限られている。周知できていない。 ・今後は保育園の園庭開放に参加させて頂く予定
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域住民を招待できるような行事は開催できなかった。		・地域に開かれた事業所運営を行う。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・可能な限りできている。	はい…100% ・契約時に説明を受けた。	・継続していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・可能な限りできている。	はい…100%	・継続していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・可能な限りできている。	はい…83% わからない…8% どちらともいえない…8% ・ペアレントデーが楽しみです。 ・適切な対応方法を教えてもらっています。	・継続していく。 ・必要に応じて面談を行い、対応力の向上を図っている。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・SNSで写真を送り、分かりやすく成長や課題を伝えている。 ・発語のない子が多く、細やかに連絡帳に状況を記載している。	はい…91% どちらともいえない…9% ・細かい連携が取れていて安心します。 ・お迎え時に情報共有しています。	・継続していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・必要に応じて、電話や面談にて話を聞いた り助言を行っている。	はい…100% ・いつも相談にのってもらっています。	・継続していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・親子参加プログラムを実施している。 ・保護者同士の座談会を行い、卒園した保護者も参加して下さり、就学に向けての情報交換をした。	はい…66% どちらともいえない…25% わからない…8%	・継続していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情解決体制を整備している。 ・迅速に対応し、管理者やスタッフへの周知を行い適切に対応する。	はい…58% わからない…42%	・継続していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・可能な限りできている。	はい…91% どちらともいえない…9% ・活動の様子を写真で見せてもらえる。 連絡帳にも様子が詳しく書かれてあるので毎回見るのが楽しみです。	・継続していく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・行事ごとに、内容詳細のお便りを配布している。	はい…84% わからない…16%	・継続していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・可能な限りできている。	はい…84% わからない…16%	・継続していく。 ・スタッフは、契約時に個人情報保護の誓約に同意をしている。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・避難訓練の年間予定を立て、月ごとに実施をし、報告書を作成している。	はい…75% どちらともいえない…8% わからない…16%	・継続していく。 ・月に一度なので、実施を周知できていない。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	・同上	はい…75% わからない…25%	・ご利用回数少ない子の日程調整を行い避難訓練に参加できるよう配慮する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・虐待対応マニュアル・身体拘束マニュアルを作成している。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・出来ている。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・出来ている。 ・契約時にアレルギー調査票を記入して頂き、それに基づいた対応を行っている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・出来ている。		・事例集を用いた研修会を行い、未然に防げるようにする。